



東陽の旋風かぜ ～自律貢献～

令和5年5月12日（金）No 5 発行
文責：松本 卓也

相手に想像力を働かせなさい ～対話による合意形成～

先月24日（月）に、合同運動会の選手&役員決めを体育館で行いました。例年、課題となるのが長距離種目の選手決めです。走ることが得意な子が複数いれば早く決まりますが、そうでない場合は沈黙の時間が続くこともよくあります。必要なのは「自分の意見を述べること」と、「譲り合う気持ち」です。子どもたちがどのように決めていくのか？少し心配していましたが、団長を中心に意見を出し合い、合意形成を図っていました。先日、朝のニュース番組で興味深い特集がありました。

昨年10月、93歳で亡くなられた東京大学名誉教授の小宮隆太郎氏。日銀総裁を務めた白川方明氏や新たに日銀総裁に就任した植田和男氏など日本経済を率いる多くのリーダーを世に送り出した教育者でもあった。（中略）

「相手に想像力を働かせなさい」

「立場が異なる相手であっても、対等に論争し、そして相手に歩み寄りなさい」

これこそが小宮氏は教え子たちに伝えたかったメッセージだったと取材を通じて感じた。国際社会の対立や分断が進み、SNSでは心ない中傷も目立つ。意見が異なる者が歩み寄ることをせず、合意形成が難しくなった現代。

「なぜこうなってしまったのか、とことん考えなさい」

「もっと意見を交わしなさい」

小宮氏ならそう言うのではないだろうか。

【引用：NHK NEWS WEB ビジネス特集「異色の経済学者 小宮隆太郎氏は何を残したか」】

集団に力があるから、相手への思いやりが生まれたり、自分の意見を安心して発表したりすることが出来ます。複雑で予測困難な時代を迎え、必要なのは、お互いの個性を尊重し、社会の問題に協働で解決策を生み出す意欲を持った人材です。自分で主体的に意思決定できる社会人を育てるため、私たちはこれからも側面からのサポート役として支援してまいります。令和5年度のキーワードは、『対話による合意形成』です。保護者の皆様からも、温かいご助言をお願いいたします。



【小宮隆太郎氏】



共に子どもを育てていくために

2日（火）、今年度最初の「授業参観、PTA総会、学年・学級懇談会」を開催しました。多くの保護者の皆様にご出席いただきありがとうございます。進級して1ヶ月、お子様のような日はいかがだったでしょうか。参観していただいた学校運営協議会の皆さまからは、「楽しそうに授業に参加していました。」等、貴重なアドバイスをいただきました。 “自律し貢献する” 子どもたちを育てるために、ご家庭と学校で「共に子どもを育てていく」教育活動を進めたいと考えています。保護者の皆さまの温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



あきらめない姿勢が、何かを生み出す ～城南中学生バドミントン大会～

4月29日（土）・30日（日）、八代トヨオカ地建アリーナにおいて、城南中学生バドミントン大会が開催されました。インフルエンザに罹患した生徒が多く、初日の団体戦では、男子は3名でのオープン参加、女子も急遽メンバーを組み替えて試合に臨みましたが、善戦及ばず男子は1-2、女子は0-2で敗退しましたが、予定していない種目での出場の中で大健闘してくれました。「結果が出ないとき、どう自分でもいられるか。決してあきらめない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる。」イチロー氏の言葉です。この結果をバネにして、中体連で躍動している姿を期待します。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）